令和３年度

東濃地区中学校総合体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン

東濃地区中学校体育連盟

令和　３年　５月７日
東濃地区中学校体育連盟

令和３年度　東濃地区中学校体育連盟
東濃地区中学校総合体育大会実施上の COVID－１９感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは、「学校の新しい生活様式」（文部科学省）、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）及び「スポーツイベントの再開に向けた感染 拡大予防ガイドライン」（日本スポーツ協会・日本障がい者スポーツ協会）、「全国中学校体育大会実施上の COVID- 19 感染拡大予防ガイドライン」（日本中学校体育連盟）等を踏まえて、現段階で得られている知見等に基づいて作成した。

今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況、競技の特性、利用する施設(屋内外)のガイドラインにより、随時見直すことがあり得ることに留意する。

1　大会実施に当たっての基本的な考え方について

大会の実施に当たっては、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」（文部科学省）を踏まえ、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）、「スポーツイベント再開に向けた感染予防ガイドライン」（日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、「全国中学校体育大会実施上の COVID- 19 感染拡大予防ガイドライン」（日本中学校体育連盟）、令和３年度新型コロナウイルス感染症に対応した岐阜県高等学校体育連盟主催大会（各地区高等学校体育連盟主催大会を含む）の開催に関するガイドライン、各種競技団体ガイドライン等を参考に、今後の東濃地区中学校体育大会実施に当たっての基本的な考え方に基づき新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じることとする。

【大会開催に当たっての基本的な考え方】
（１）　感染源を絶つ
（２）　感染防止の３つの基本
　　○　身体的距離の確保　　○　マスクの着用　　○　手洗い等の徹底
（３）　３つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避
（４）　安全な活動環境の確保

2　大会実施時の感染防止策について

(1) 感染源を絶つ

○　各種目専門部は、風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある選手や引率者等は、大会に参加させないことを徹底する。

○　各種目専門部は、各校の選手及び引率者等の２週間分の体調を学校ごとの検温カードから転記した体調記録表（別紙１）の記録を求め、健康管理を徹底する。

○　各種目専門部は、大会当日受付時等に、学校同行者体調記録表（別紙２）を提出させ、選手や引

率者等の体調を確認するとともに、大会中、選手や引率者等に体調不良がある場合は各種目専門部に申し出るよう場内アナウンス等で確認を促す。

○ 各種目専門部は、会場入り口において来場者（保護者）に、来場者体調記録表(入場許可証)（別紙３）にて、氏名・年齢・住所・連絡先（電話番号）・検温した体温・来場前２週間におけるア：平熱を越える発熱、イ：咳や喉の痛みなど風邪の症状、ウ： だるさ（倦怠感)、息苦しさ（呼吸難困)、 工：味覚や嗅覚の異常、オ：過去 14 日以内に政府から入国制限や入国後の観察期間を必要とされている国や地域など への渡航歴及び当該在住者との濃厚接触の有無の確認をし入場の許可をし、(別紙３)は、専門部が保管する。専門部は大会終了後１カ月程度保管しておき、その後は、個人情報に十分配慮して破棄する。

○ 引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食時、解散時等、こまめに選手の体調不良の有無を確認する声かけを行うなど、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する。

○ 各種目専門部及び引率者等は、大会中に、選手等の体調不良を確認した場合、大会救護係や医療機関及び保護者等と連携し、当該選手の体調を確認するとともに、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。

（詳細は 3 感染症が確認された場合について（PCR 検査対象となった場合を含む） 参照）

(2) 感染防止の３つの基本

ア 身体的距離の確保

○ 原則開会式等は実施しない。ただし種目の特性や会場等を考慮して各専門部で判断して実施してもよい。また、抽選会は、必要最小限の人数によって代理抽選とする。

○ 各種目専門部は、監督者会議等を実施する場合、人と人との間隔が、できるだけ２メートル（最低１メートル）空くよう、椅子の配置を広くするなどの工夫をする。

○ 引率者等は、集合時待機中、休憩中及び食事中などにおいて、選手同士の間隔ができるだけ２メートル（最低１メートル）空くように指導する。

○ 各種目専門部及び引率者等は、対戦相手や審判等との握手、仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣ハイタッチなどの実施を制限する。

イ マスクの着用

○ 各種目専門部は、選手、引率者等及び大会関係者（補助員）に、マスク等を準備させ、大会中は、競技等実施時 及び食事中等を除いて、基本的にマスク等を着用し、咳エチケットを徹底するよう指示をする。ただし、活動中や気候の状況等より、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すよう選手に指導する。

○ マスク等を着用して運動を行う場合には 同じ運動であっても身体へ高い負荷がかかり、低酸素症や熱中症などのリスクが高まるため、引率者等は、会場の気温や湿度に注意しながら、選手の健康観察を行うとともに、こまめに給水をさせる。その際給水用のコップ等を共用させない。

ウ 手洗い等の徹底

○ 各種目専門部は、選手、引率者等及び大会関係者（補助員）が、こまめに手洗いを行えるよう、利用する施設と連携し、場内アナウンス等で選手や引率者等に手洗いを促す。

○ 各種目専門部は、参加者には、事前に手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参するよう周知徹底する。

○ 引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食前後、解散時等、こ

まめに流水と石けんで手洗いを行うよう、選手に指導する。

(3) 3つの「密」(密閉空間、密集場所、密接場面) の回避

○ 試合は、無観客で行う。会場には登録された選手、引率及び大会関係者（役員・審判）が入場。また、熱中症・消毒対応として、保護者等最大3名の入場を許可する。出場選手として登録されていない部員やマネージャー（3年生は除く）については入場不可とする。ただし、会場の広さ等で上記の選手、引率及び大会関係者が入場すると密集してしまう場合は、選手、審判、監督など、最小限の人数での大会開催を事務局と相談する。

○ チームでまとまって会場へ移動する場合引率者等は、バス等の車内が、密閉空間にならないよう、運転手と連携し定期的に換気をしたり、1台に乗車する人数を減らしたりするなどの工夫をする。

○ 各種目専門部は、更衣室で選手が密集しないよう、一度に利用できる人数を制限し明示する。また、更衣室内に選手同士の間隔ができるだけ2メートル（最低1メートル）空くように目印テープを貼付するとともに、更衣室の換気扇を常時運転したり、換気用の小窓を開けたりする等、換気に配慮する。

○ 各種目専門部は、屋内で実施する競技において、会場内で人が密集しないよう、一度に会場に入れる人数や学校数等を制限するなどの工夫をする。

○ 各種目専門部は、屋内で実施する競技において、1 時間に 2～3 回程度、会場のドアや窓を開け換気を行うなどの工夫をする。その際、試合会場の窓等の開閉が困難な場合は、利用する施設と連携し、換気設備を適切に運転する。この場合においても 1 時間に 2～3 回程度会場の入口等を開け換気を行うなどの工夫をする。

○ 各種目専門部及び引率者等は、試合会場のベンチや食事をする場所について、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、選手同士の間隔を取らせ対面をさけ、会話は控えるよう指導する。

(4) 安全な活動環境等の確保

○ 確認したうえで同意書（別紙4）を提出させたうえで参加させる。

○ 各種目専門部は、参加校に対し大会の主旨、感染拡大予防ガイドラインを周知徹底する。顧問等は、学校の生徒について、各自で健康チェックをするなど保護者の責任のもと健康上問題がないことを確認したうえで、同意書(別紙4)を提出させ参加させる。

○ 試合会場へ入場する保護者については、来場者体調記録表（入場許可証）（別紙3）を記録の上、来場ごとに開催各種目専門部のチェックを受ける。

○ 選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意向聴取等が求められることも想定し、引者率や学校等と保護者が確実に、速やかに連絡がとれる体制を構築しておく。

○ 社会体育施設を利用して大会を実施する場合は、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(スポーツ庁) に則り運営する施設を選定し、感染拡大予防対策について、事前に施設と打合せを行う。

○ 各種目専門部及び引率者等は、別紙「東濃地区大会実施時の感染防止対策チェックリスト」例を参考に、各部活動の実態や各競技特性に応じた、適切な感染防止策を講じる。

3　感染が確認された場合について（PCR 検査対象となった場合を含む）

（１）顧問は、大会参加申し込み後に該当者が出た場合は、速やかに各種目専門委員長へ報告し、各種目専門部は東濃地区中体連事務局へ報告する。

（２）顧問は、保護者を含めた連絡体制を整備しておき、時間外においても速やかに連絡を行うこと。

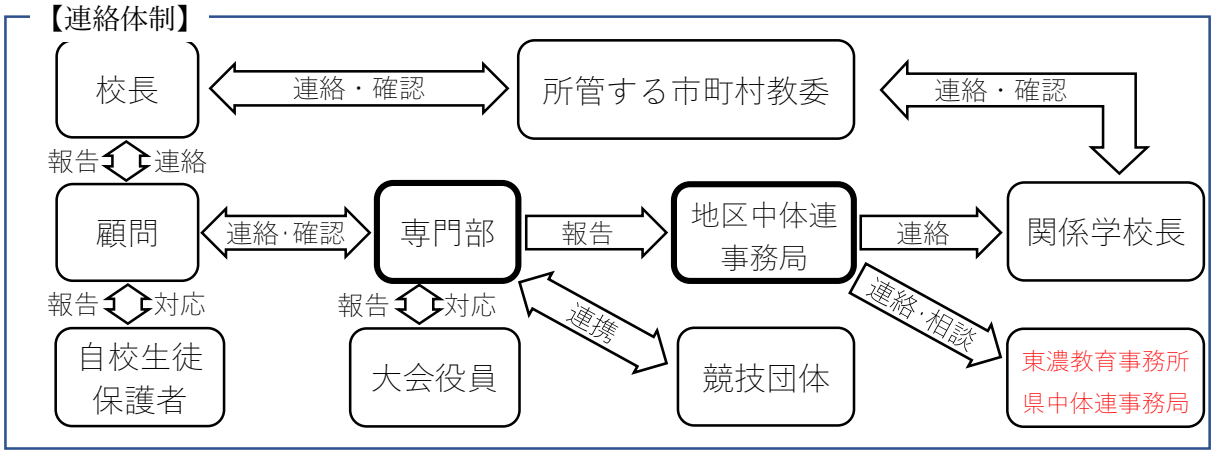
（３）感染者及び濃厚接触者と同じ大会・競技に参加していた関係者への連絡、対応は下記のとおりとする。

ア　顧問・指導者・大会参加生徒及び保護者への対応は各学校
　　各学校は市町村教育委員会と連携を図る

イ　大会関係者への対応は各種目専門部

ウ　東濃地区中体連事務局は、各種目専門部及び、東濃教育事務所、岐阜県中体連事務局と協力して連絡調整を行う。

【連絡体制】



4　大会の出場について

（１）大会前

ア.学校が臨時休業を行っている場合は、臨時休業期間中の該当校の出場を認めない。

イ.部員または部顧問の感染が判明した場合や濃厚接触者と判断された場合は、該当部員、部顧問の出場を認めない。

ウ.部員または部顧問が発熱等の体調不良や濃厚接触者として PCR 検査を受検し、その結果が大会前日までに判明しなかった場合は、該当部員、部顧問の出場を認めない。

エ.部員または部顧問の同居者が発熱等の体調不良や濃厚接触者として PCR 検査を受検した場合、該当者は同居者の検査結果が出るまで出場を認めない。

オ.上記イ.ウ.エに該当しない部員及び部顧問の出場に関しては、該当中学校、各種目専門部、東濃地区中学校体育連盟事務局、市町村教育委員会、東濃教育事務所等でその都度協議して決定する。

（２）大会参加申込後に上記（１）が判明した場合の対応について

ア.団体競技においては、選手変更を認める。変更手続きは、参加申込書に様式に従って行う。

イ.個人競技においては、選手変更は認めず欠場とする。

（３）大会期間中

ア.会場に入る全ての者は、大会当日の朝必ず、自宅で検温を行い、平熱であることを確認しマスクを着用したうえで会場に入る。

イ.特に選手（大会補助員、エントリー以外の部員等も含む）は部顧問が責任をもって検温結果を確認すること。(息苦しさ（呼吸困難）強いだるさ（倦怠感)、高熱等の強い症状は勿論比較的軽い風邪の症状（体温が平熱より明らかに高い等）がある場合は会場に入ることができない。)

ウ.競技実施中及び観戦中に、発熱などの症状を訴える者を確認した場合は、けが人の処置室とは別の体調不良用の待機場所に待機させ保護者に迎えに来てもらい医療機関への受診をすすめる。

エ.大会期間中に会場にいた者の感染が判明した場合には、感染者は勿論、濃厚接触者に該当する者のその後の大会への出場は認めない。

オ.上記ウ.エとなった場合、成立した試合結果の取り扱いやその後の試合の組み合わせ等については、各種目専門部で判断して決定する。

5　感染及び濃厚接触者の大会参加について

（１）　感染者は、PCR 検査が陰性となり、医師等と相談の上、他人への感染の恐れが無いことを確認し、体調及び体力が十分に回復した時点で参加を認められる。

（２）　濃厚接触者は、感染者と最後に接触した日の翌日から２週間を経過し、症状が認められない場合は大会参加を認められる。風邪等の症状が現れた場合、PCR 検査が陰性となり、医師等により感染していないことが確認されれば大会参加を認められる。

6　大会開催可否判断について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、以下の状況となった場合、臨時に東濃地区常任理事会を開催し、大会開催可否について検討する。

○ 岐阜県に対して新型インフルエンザ等特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令された場合

○ 岐阜県独自の緊急事態宣言等の発令またはイベント開催自粛要請がされた場合

○ 岐阜県内医療機関の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れが対応不可となった場合

○ 各市代表選手の参集が困難な場合（申し込み参加校の 1/4 以上）

○ 各市大会（予選会）の開催が困難な場合（東濃地区中体連地区の 2/3 程度が実施に影響を生じたとき）

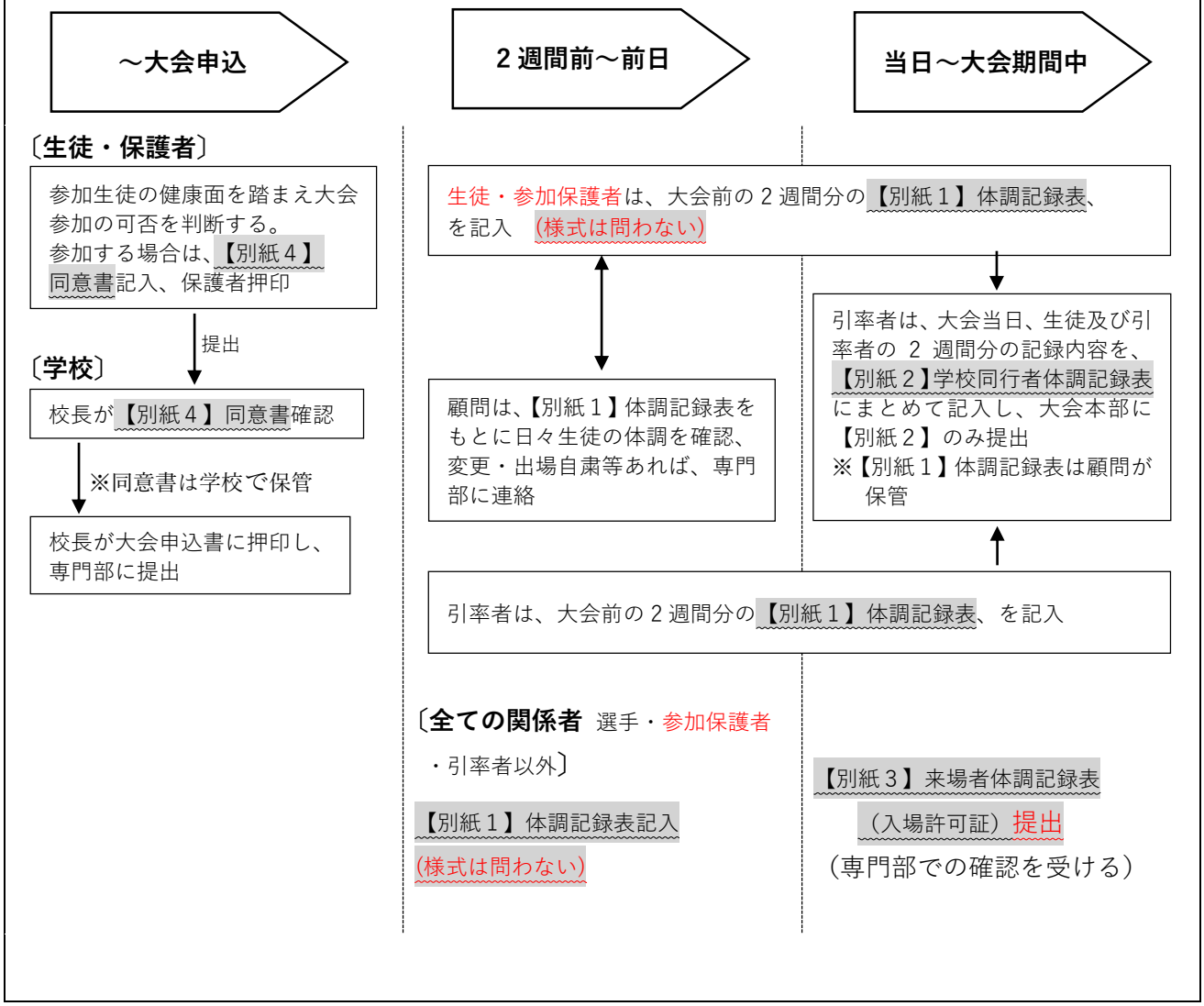
○ 大会に参加している者及び大会運営に係る者に新型コロナウイルス感染症感染者が発生し、大会運営に支障をきたす、またはその可能性が想定される場合

○ その他新型コロナウイルス感染症に起因する事象により大会の開催が困難とされる場合

別　紙　一　覧

□【別紙１】体調記録表
□【別紙２】学校同行者体調記録表
□【別紙３】来場者体調記録表（入場許可証）
□【別紙４】同意書
□ 各種目専門部用サンプル
□ 選手・引率者用サンプル

大会参加までの流れ（フロー図）



【別紙１】

体調記録表

所属（　　）　　氏名（　　）

◎ 自身の体調について、素直に申し出るようにしてください。体調の異変を感じた際は、早めの相談や受診をお願いします。

	月　日	曜　日	体　温	体調について（各項目の□にレをすること）
1	月　日		．　℃	□せき、のどの痛みなど風邪の症状はない □身体のだるさ、息苦しさはない □味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
2	月　日		．　℃	□せき、のどの痛みなど風邪の症状はない □身体のだるさ、息苦しさはない □味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
3	月　日		．　℃	□せき、のどの痛みなど風邪の症状はない □身体のだるさ、息苦しさはない □味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
4	月　日		．　℃	□せき、のどの痛みなど風邪の症状はない □身体のだるさ、息苦しさはない □味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
5	月　日		．　℃	□せき、のどの痛みなど風邪の症状はない □身体のだるさ、息苦しさはない □味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
6	月　日		．　℃	□せき、のどの痛みなど風邪の症状はない □身体のだるさ、息苦しさはない □味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
7	月　日		．　℃	□せき、のどの痛みなど風邪の症状はない □身体のだるさ、息苦しさはない □味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
8	月　日		．　℃	□せき、のどの痛みなど風邪の症状はない □身体のだるさ、息苦しさはない □味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
9	月　日		．　℃	□せき、のどの痛みなど風邪の症状はない □身体のだるさ、息苦しさはない □味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
10	月　日		．　℃	□せき、のどの痛みなど風邪の症状はない □身体のだるさ、息苦しさはない □味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
11	月　日		．　℃	□せき、のどの痛みなど風邪の症状はない □身体のだるさ、息苦しさはない □味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
12	月　日		．　℃	□せき、のどの痛みなど風邪の症状はない □身体のだるさ、息苦しさはない □味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
13	月　日		．　℃	□せき、のどの痛みなど風邪の症状はない □身体のだるさ、息苦しさはない □味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
14	月　日 （大会１日目）		．　℃	□せき、のどの痛みなど風邪の症状はない □身体のだるさ、息苦しさはない □味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
15	月　日 （大会２日目）		．　℃	□せき、のどの痛みなど風邪の症状はない □身体のだるさ、息苦しさはない □味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
16	月　日 （大会３日目）		．　℃	□せき、のどの痛みなど風邪の症状はない □身体のだるさ、息苦しさはない □味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない

【別紙２】

令和　　年　　月　　日

No.

学校同行者体調記録表

学校名（　　）　引率者氏名（　　）

①　平熱を超える発熱（概ね３７．５℃以上）　② 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状

③　だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）　④ 味覚や嗅覚の異常

入場者	氏　　名	本日の体温（℃）	体調記録表（2 週間）において、異常がみられれば各項目に✓をすること。				
			①	②	③	④	備　　考
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					
		.					

入場者の欄には、下記の番号を入力ください。

１：顧問　２：コーチ　３：保護者等（３名まで、競技によっては３名以下になる場合あり）

※選手（登録されている部員・マネージャー）については番号記入の必要無し

※競技のルール上、コーチ以外でベンチ入りする人は、備考に役割を明記する。

【別紙３】

来場者体調記録表(入場許可証)

所属（　　）　　氏名（　　）

1　記入事項　（1）～（4）の各項目へ漏れなく回答ください

※ 個人情報取得については、大会終了後に参加者から新型コロナウィルス感染の報告を受けた場合に必要となる拡大予防対策措置のためであり、その目的の達成に必要な範囲内で使用します。なお、主催者側で１カ月程度保管し、その後は破棄します。

（1）以下の事項に該当する場合には自主的に参加を見合わせてください。

① 体調がよくない（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
② 新型コロナウィルス感染症陽性とされたものとの濃厚接触がある
③ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
④ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

→　【　該当する　・　該当しない　】

（2）連絡先等

氏　　名（　　）　　電話番号（　　）

住　　所（　　）　　年　　齢（　　）歳

（3）本日の体温（　　.　　）℃

（4）前２週間における以下の事項の有無（いずれかに〇をしてください。）

① 平熱を超える発熱（概ね　３７.５℃ 以上）　→　有　・　無
② 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状　→　有　・　無
③ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）　→　有　・　無
④ 臭覚や味覚の異常　→　有　・　無
⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等　→　有　・　無

2　確認事項

（1）マスクを着用すること（受付参加時や着替え時の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）。

（2）こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

（3）他の参加者、主催者、スタッフ等との距離（できるだけ２ｍ以上）を確保すること（障害者の誘導や介助を行う場合を除く）。

（4）大会開催中に大きな声で会話、応援をしないこと。

（5）感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

（6）大会終了後２週間以内に新型コロナウィルス感染した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

（7）専門部は行動履歴書を記載し、感染者発覚の際は濃厚接触者特定のために必要となる場合もあるため、大会終了後１カ月程度保管しておくこと

【別紙４】　**大会参加者（生徒の場合は保護者）から校長へ提出（学校にて保管する）**

同　意　書

東濃地区中学校体育連盟会長　ならびに

学校名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

校長名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

私は東濃地区中学校体育連盟 東濃地区中学校総合体育大会＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿競技に参加するにあたり、健康上の問題はありません。また、同大会の開催要項、東濃地区中学校体育連盟 東濃地区中学校総合体育大会実施上の感染拡大予防ガイドラインに従い同大会に参加することを同意します。

令和　　年　　月　　日

参加者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保護者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

※参加者が生徒の場合は保護者も署名捺印してください。

「東濃地区大会実施時の感染防止対策チェックリスト」

【各種目専門部用サンプル】

□	感染防止対策について、施設と事前打ち合わせを行っている。
□	感染防止対策について、運営スタッフと事前打ち合わせを行った。
□	大会関係者全員の健康状態について確認を行った。
□	会場内の巡回・確認について、運営スタッフのローテーションを作成し周知している。
□	会場入り口等に手指消毒薬等を設置している。
□	更衣室は、一度に入場できる人数を入り口付近に明示している。
□	更衣室の床に、生徒同士の間隔を取るための目印テープを貼付するとともに、換気が行われている。
□	試合中、チームが使用するベンチ等は、十分間隔が空いている。
□	一度に会場には入れる人数や学校数等を制限している。
□	広さにゆとりのある食事場所を、参加校に指定している。

※ 上記内容はサンプルのため、会場や競技の特性に合わせ内容については各競技部にて検討する

「東濃地区大会実施時の感染防止対策チェックリスト」

【選手・引率者用サンプル】

□	風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）はない。
□	朝、検温を実施し、発熱が無いことを確認している。
□	マスクを準備している。
□	タオルやハンカチを準備している。
□	会場に移動する際、感染防止対策を講じている。
□	手洗いを実施する。 （会場到着時・更衣前後・試合前後との距離・解散時　等）
□	更衣室内に選手が密集しないよう、適切に使用している。
□	常に自校や他校の生徒、大会関係者等との距離を、できるだけ 2 メートル（最低 1 メートル確保している）
□	給水するためのコップ等を共用しない。
□	食事の際、間隔を取って座り、対面を避け、会話は控える。

※ 上記内容はサンプルのため、会場や競技の特性に合わせ内容については各競技部にて検討する